

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局保育課
連絡先	582-4212

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	直営保育所の再編・民営化
-----	--------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。 なお、民営化後の施設の建て替えにあたっては、「安心子ども基金」などを活用し、
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 保育サービス

【目的実現の為に実施する手段】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由		
		当初の予定	直営保育所の民営化 民営化施設の改築						
		これまでの進捗状況・今後の予定	直営保育所の民営化 1施設 民営化施設の改築 1施設 (新規着手～23年度実施) 直営保育所の民営化 1施設 直営化施設の改築 1施設	直営保育所の民営化 民営化施設の改築					
【実施状況】	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）	直営保育所の再編・民営化		計画	平成22年度 1 施設	平成23年度 1 施設	目標 年度 平成27年4月		
		保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。		実績	1 施設	施設	内容 18施設		
		民営化施設の老朽改築		計画	1 施設	1 施設	年度		
		保育環境の向上を図るため、公立から民営化した保育所について、「民設民営方式」による施設の老朽改築を進めます。		実績	1 施設	施設	内容		
				達成度	100 %	%			
				達成度	100 %	%			
【コスト】	事業費	148,324 千円		190,877 千円					
		うち一般財源 25,720 千円		26,589 千円					

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

【実施結果】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	直営保育所の民営化 ... 1施設(篠崎) 平成22年度公募、運営引継ぎ、23年4月1日付民営化 民営化施設の改築 ... 1施設(三六) 平成21年4月1日付民営化、22年度改築、23年春 新施設開所 (このほか、新たに民営化1施設(早鞆)、民営化施設の改築(篠崎)に着手...いずれも23年度実施)
--------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

【評価】	有効性	この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	計画的に公立保育所の民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減を図り、保育所運営の効率化と保育サービス全体の向上に寄与するものと考えます。 また、民営化等による施設の再編とあわせて、直営保育所の施設と人材を活用し、支援の必要な子どもと家庭への対応を強化しています。(親子通園の実施、重度障害児の受入等)
	経済性・効率性	同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	公立保育所の運営主体について、計画的に民間法人への移行を図っています。また、「民設民営方式」による施設の老朽改築を進めることにより、改築等に係る市負担の軽減を図りながら、保育環境の向上に努めています。
	適時性	今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	直営保育所1施設の民営化により、23年4月には市の直営保育所は22施設となりましたが、直営保育所の運営には多額の超過経費(市負担)が必要であり、今後も更なる運営の効率化が求められます。また多くの施設で老朽化が進んでおり、今後とも計画的に保育環境の改善を図る必要があります。
	市の関与の必要性	実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	保育に係る計画の策定、民間保育所の設置運営主体の公募、保育所整備に係る補助金の交付などは市が行うべきものであると考えます。一方で、保育所の新規開設等は、上記のとおり民間保育所を対象に実施しており、民間活力の活用を図っています。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	市の直営保育所については、民間法人による保育の状況や、「民間でできることは民間に委ねる」という経営改革の基本的な考え方を踏まえ、平成7年度から3次にわたる5か年計画を策定し、保育所の統合、民営化や施設の改築を計画的に進めてきました。 こうした成果を踏まえ、民間活力を活用しながら、保育環境の向上と保育所運営の更なる効率化を図るため、平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」においても、施設の老朽改築等にあわせて、直営保育所5施設の再編・民営化を図ることとしています。	

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	直営保育所の民営化 ... 1施設(早鞆 22年度公表) 平成23年度公募、運営引継ぎ、24年4月1日付民営化、24年度内移転改築 民営化施設の移転改築 ... 1施設(篠崎 22年度公表) 平成23年4月1日付民営化、23年度改築、23年秋頃竣工・移転予定	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	--	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582 - 2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	障害児保育の充実
-----	----------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また障害のある子どもの福祉の向上と、保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、統合保育の可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れます。
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 保育サービス

目的実現の為に実施する内容【手段】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	・通常保育、延長保育事業実施保育所、一時保育事業実施保育所全保育所での受け入れ ・直営保育所で重度障害児受け入れ				
これまでの進捗状況・今後の予定		・通常保育における障害児の受け入れ施設:157施設 ・特別保育事業における障害児の受け入れ施設:(延長)140(一時)54	・通常保育、延長保育事業実施保育所、一時保育事業実施保育所全保育所での受け入れ ・直営保育所で重度障害児受け入れ				
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)				平成22年度	平成23年度	目標
	通常保育における障害児の入所状況		計画	157 施設	—	年度	
	・通常保育で障害児の受け入れを全保育所で行います。 ・統合保育の可能な重度障害児の受け入れを直営保育所で行います。		実績	157 施設		内容	
	特別保育事業における障害児の入所状況		計画	(延長)140(一時)54 施設		年度	
	保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保育のみならず特別保育事業においても、全保育所で障害児の受け入れを行う。		実績	(延長)140(一時)54 施設		内容	
			達成度	%	%		
コスト	事業費		220,485 千円	268,947 千円			
	うち一般財源		220,485 千円	268,261 千円			

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 通常保育119施設において、障害児404名を受け入れました。延長保育29施設、一時保育3施設において障害児を受け入れました。直営保育所において、統合保育の可能な重度の障害児8名を受け入れ、子どもの福祉の向上と保護者の就労を支援しました。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	障害のある子どももいない子どもと一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができます。保育所での保育が可能な障害のある子どもを全保育所で積極的に受け入れており、22年度は119施設において404名の障害児を受け入れました。就労を希望する保護者も増加するなか、障害児保育のニーズは高まると予想されます。有効性は高いと思われます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	現在は障害児数に応じた職員配置を、常勤や5時間パートで行っており効率性は高いと考えます。これ以上のコスト削減は困難です。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	障害児の福祉向上はもとより、保護者の就労支援、子育て支援は積極的に取り組む課題であり着実に進めていく必要があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	保育の実施は市町村の義務でもあり、障害児保育の充実が必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	本事業は、児童の福祉向上に資するところも大きく、保護者の就労支援、子育て支援を図る上で施策に対する有効性も高く、今後も児童の処遇改善や保育所の資質向上を図りながら着実に取り組むことが適当だと考えます。

【次年度計画】	目的実現のために23年度に実施すること	今後も継続して事業を実施します。	前年度に評価した今後の方向性
---------	---------------------	------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	親子通園クラスの設置
-----	------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	直営保育所へ新たに「親子通園クラス」を設置し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健・医療・福祉・教育の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。
	その結果、実現を目指す施策名	施策名 保育サービス

目的実現の為に実施する内容【手段】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	親子通園クラスの計画的な設置					
これまでの進捗状況・今後の予定		1施設 (八幡西区黒崎保育所)	小倉北区東篠崎保育所で実施予定	親子通園クラスの計画的な設置		実施箇所数 7箇所		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)				平成22年度	平成23年度	目標	
	親子通園クラスの設置				計画	1 施設	2 施設	年度 平成26年度
	親子通園クラスを設置し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を受け入れ、遊びや相談等を通して、保育所や幼稚園等への移行支援を行います。				実績	1 施設		内容 7箇所
					達成度	100 %	%	年度
					計画			内容
					実績			年度
コスト					事業費	1,290 千円	3,158 千円	
					うち一般財源	1,030 千円	1,238 千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 八幡西区黒崎保育所において親子通園クラスを設置し、遊びの提供や保護者との懇談会を行いました。発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した関わりの中で、子育ての楽しさや子どもの成長の喜びを伝えるなどの支援を行いました。12組(延べ65組)の親子が利用しました。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	現在通園中の世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また次年度の進路が決定している世帯も67%を超え、移行支援としての成果も出ています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	利用料として、一世帯あたり月に4,000円を徴収しています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	現在の社会状況において、支援の必要な子どもと保護者への対応を考えた子育て支援としてたいへん重要であると考えられます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	直営保育所の施設と人材を活かした子育て支援であり、全国的にも例のない事業です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	市全域へのサービス実施のためにも、平成23年7月東部地区で事業を開始していきます。発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、保育所での親子遊びや行事参加などの体験、相談を通じて、保育所や幼稚園等への移行支援を行います。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	東部地区の東篠崎保育所で、親子通園クラス事業を開始します。	前年度に評価した今後の方向性

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	緊急時対応保育所の整備
-----	-------------

【目的の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	新型インフルエンザなどの新型感染症発生時や災害発生時など、保育所を一斉休園する緊急時に、医療関係者など、特に保育を必要とする保護者へ対応するため、直営保育所を「緊急対応保育所」として開所します。	
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	保育サービス

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	緊急時受入体制等の検討					
	これまでの進捗状況・今後の予定	緊急時受入体制等の検討	緊急時受入体制等の検討					
実施状況	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）				平成22年度	平成23年度	目標	
	緊急時の受け入れ体制等				計画		年度	-
	開所する保育所への人員体制の集約、施設の整備などを検討します。				実績		内容	-
					達成度	%	%	
					計画		年度	
					実績		内容	
				達成度	%	%		
コスト					事業費	千円	千円	
					うち一般財源	千円	千円	

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 H22年度は、開所する保育所の人員体制、施設の整備、関係機関との調整などを行いました。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	本事業は緊急時における子育て支援として有効です。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	既存施設・人員を活用してサービスを提供できます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	保育所を一斉休園せざるを得ないような緊急時に、医療関係者など特に保育を必要とする保護者に対し、保育サービスを提供できます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	保育の実施は市町村の義務であり、緊急時の保育の実施は必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア：事業の見直しを図ることが可能 イ：休止・廃止を検討 ウ：現状のまま進めることが適当 エ：終了	ウ	保育所を一斉休園せざるを得ないような緊急時に、医療関係者など特に保育を必要とする保護者に対し、保育サービスを提供するため、引き続き、開所する保育所への人員体制の集約、施設の整備などについて検討を行います。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	引き続き、開所する保育所の人員体制、施設の整備、関係機関との調整などの検討を行います。	前年度に評価した今後の方向性

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	区役所における保育サービス等の相談・コーディネート機能の向上
-----	--------------------------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化し、保育サービスに関するきめ細かい説明や情報提供を行いながら、児童と保護者の状況を踏まえた保育サービス等のコーディネートに取り組みます。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	保育サービス	

【目的実現の為に実施する手段】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	入所窓口体制等の強化				
【実施状況】	これまでの進捗状況・今後の予定	入所窓口体制等の強化策について調整	入所窓口体制等の強化				
		成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）	入所窓口体制等の強化		計画	平成22年度	平成23年度
【コスト】	障害児保育の入所調整など、保育ニーズの多様化とともに、入所事務が複雑化しており、入所窓口の体制強化を図る必要があります。	達成度	%	%	年度	内容	
		計画			年度	内容	
		実績			年度	内容	
		達成度	%	%	年度	内容	
【事業費】	事業費	千円	千円				
	うち一般財源	千円	千円				

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	体制強化を図るため、関係機関と調整を進めました。
-------------------	-------------------------------------	--------------------------

【事業の再検証】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	入所事務に対するきめ細やか対応は、多様化している保育ニーズに応えることとなります。
【評価】	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い 2: やや低い 1: 低い	4 現行の窓口の体制を強化するので、経済性・効率性は高いと思います。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	保育ニーズが高まっている現状で、取り組むことが重要です。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	各区役所で入所事務を行っており、多様化・複雑化する保育ニーズに対応する必要があります。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	引き続き関係機関と調整を行い、入所窓口の機能強化を図るとともに、入所担当者への研修等の充実などを図り、よりきめ細やかな入所対応を行ってまいります。

【次年度計画】	目的実現のために23年度に実施すること	関係機関と調整を行い、入所窓口の機能強化を図っていききたいと考えています。	前年度に評価した今後の方向性
---------	---------------------	---------------------------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	支援の必要な子どもと家庭を支えるネットワークの構築
-----	---------------------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	発達の気になる子どもや、育児に不安を抱えた保護者など、支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うため、区役所と直営保育所の連携を深め、保健・医療・福祉・教育の連携によるネットワーク作りを進めます。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	保育サービス	

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由		
		当初の予定	支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うためのネットワークの構築					→	
		これまでの進捗状況・今後の予定	黒崎保育所で親子通園を実施し、区役所との連携を深めた。	支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うためのネットワークの構築					→
実施状況	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）				平成22年度	平成23年度	目標		
	ネットワークの構築				計画			年度	
	親子通園や障害児の入所調整、入所後の支援体制についてのネットワーク作りを進めます。				実績			内容	
					達成度	%	%		
					計画			年度	
					実績			内容	
				達成度	%	%			
コスト					事業費	千円	千円		
					うち一般財源	千円	千円		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 八幡西区黒崎保育所から、親子通園を開始し、連携を深めています。

【事業の再検証】				
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	発達の気になる子どもや、育児に不安を抱える保護者が増えていますので、直営保育所と区役所が連携したネットワークの構築は有効性が高いと思われます。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	直営保育所の機能を活かしながら、支援の必要な子どもと家庭への個別対応と継続した支援を行うので、これ以上のコストの削減は困難と考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	発達の気になる子どもへは早期対応が必要です。親子通園事業など支援の必要な子どもとその保護者に継続した支援は重要だと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。		4	支援の必要な子どもと家庭に継続した支援は必要なものと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア：事業の見直しを図ることが可能 イ：休止・廃止を検討 ウ：現状のまま進めることが適当 エ：終了	ウ	今後とも直営保育所の役割を明確にし、人材を活かしてネットワーク作りを進め、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。	

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	小倉北区の東篠崎保育所で親子通園を開始し、関係機関との連携を図るなど、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。	前年度に評価した今後の方向性

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	保育サービスに関する情報提供の充実
-----	-------------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。	
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	保育サービス

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	ホームページ等の充実				
【実施状況】	これまでの進捗状況・今後の予定	ホームページの更新回数12回	ホームページ等の充実				
	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	ホームページの更新回数		計画	平成22年度 12回	平成23年度 12回	目標 年度
【コスト】	市内各保育所の受入状況をホームページで公開し、毎月更新するように改めます。	実績	達成度	100%			内容
		計画	実績				内容
【事業費】	事業費	達成度					
		計画	実績				
【うち一般財源】	うち一般財源	事業費					
		達成度					

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	計画どおりに毎月更新して、情報提供を行っています。
-------------------	-------------------------------------	---------------------------

【事業の再検証】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	区役所等へ問い合わせることなく、各保育所の入所状況を把握できるため、情報提供の手段として有効性が高いと思います。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	ホームページでの情報提供は低いコストでより高い効果が期待でき、これ以上のコスト削減は困難だと思います。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	保育所のニーズが高まる中、利用できない保護者の情報収集への影響は大きいと思います。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	市の事業の情報提供であるため、市が主体的に行うべきです。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	今後とも、ホームページ上で入所状況を表示して情報提供の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立支援を図ります。また市政だより等での情報提供の充実も検討します。

【次年度計画】	目的実現のために23年度に実施すること	市政だよりによるPRを行うなど、今後も継続的に情報提供を実施していきます。	前年度に評価した今後の方向性
---------	---------------------	---------------------------------------	----------------

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 保育課
連絡先	582-2412

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	直営保育所給食調理業務民間委託
-----	-----------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市経営プラン(平成20年12月)に基づく「公民パートナーシップの推進」の一環として、直営保育所の保育所調理業務の民間委託を行います。委託の基準として、「調理員が2名欠員」となった時点で、民間委託を行います。	
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	保育サービス

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由
		当初の予定	「調理員が2名欠員」となった時点で、民間委託を推進				
	これまでの進捗状況・今後の予定	吉野保育所民間委託化準備	「調理員が2名欠員」となった時点で、民間委託を推進				
【実施状況】	成果・活動指標（上段：指標名、下段：指標設定の考え方）				平成22年度	平成23年度	目標
	給食調理業務民間委託実施箇所数		計画	0 箇所	1 箇所	年度	-
	一定の欠員が生じた場合、給食調理業務を民間へ委託するもの。		実績	0 箇所	箇所	内容	-
			達成度	%	%		
			計画			年度	
			実績			内容	
		達成度	%	%			
【コスト】			事業費	千円	千円		
			うち一般財源	千円	千円		

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
【実施結果】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 現在、市内3カ所の直営保育所(八幡西区・穴生保育所、八幡東区・堂山保育所、若松区・若松コスモス保育所)において給食調理業務を民間に委託しています。今回、一定の欠員が生じることとなったため、H23年度より新たに1所にて給食調理業務を民間へ委託します。H22年度はその準備を行いました。

【事業の再検証】			
【評価】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	公民パートナーシップを推進し、効率的な行政運営を実現しました。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	民間委託により、1所あたり約7,500千円の経費節減を果たしました。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	厳しい財政状況の中で、持続可能で安定的な財政確保の一助を担っています。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすことはできないのか。	4	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るために必要です。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア：事業の見直しを図ることが可能 イ：休止・廃止を検討 ウ：現状のまま進めることが適当 エ：終了	ウ	引き続き、公民パートナーシップを推進し、効率的な行政運営を図っていきます。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	吉野保育所で給食調理業務を民間へ委託します。	前年度に評価した今後の方向性